

空気をみかく

# ホローファイバフィルタ

高ろ過精度中空糸膜エレメント採用

- 0.01  $\mu\text{m}$ までの微粒子を除去。
- 中空糸膜タイプなので大流量。
- フィルタエレメントはカートリッジ式のため交換が簡単。
- 取り付けには、弊社マルチシリーズのモジュールアダプタ（F300、F600用）が使用できます。（40ページをご覧ください。）

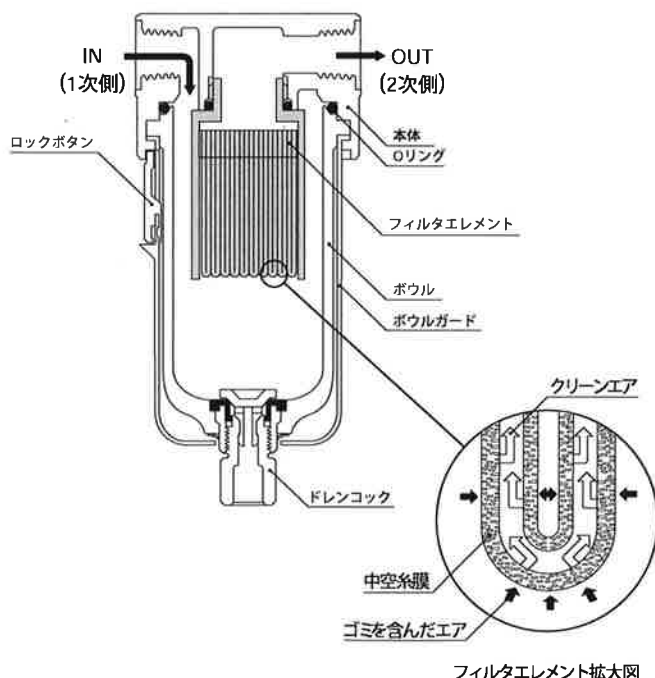


## 使用例

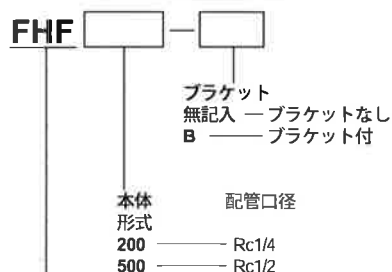
- ブローエア用ファイナルフィルタ
- IC製造装置、真空破壊エア用フィルタなど…

# 販売終了

## 作動原理・内部構造



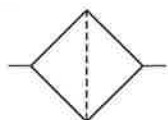
## 注文記号



ホローファイバフィルタ

- ブラケットのみの形式
  - 8-30A (FHF200用)
  - 8-60B (FHF500用)
- 交換用フィルタエレメント形式 (Oリング付)
  - E-FHF200 (FHF200用)
  - E-FHF500 (FHF500用)

## 表示記号



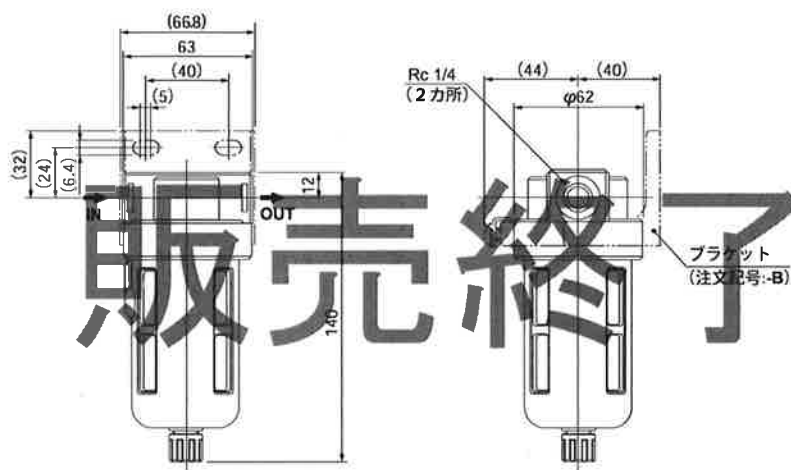
## 仕様

項目	形式	FHF200	FHF500
使用流体		空気 注1	
配管接続口径	Rc	1/4	1/2
捕集粒径	μm	0.01	
処理空気量 注2	ℓ/min(ANR)	200	500
膜面積	cm <sup>2</sup>	700	1100
最高使用圧力	MPa(kg/cm <sup>2</sup> )	0.97(9.9)	
保証耐圧力	MPa(kg/cm <sup>2</sup> )	1.47(15)	
使用温度範囲	℃	5～50	
質量	kg	0.4	0.5
主要部材質	本体	亜鉛ダイカスト	アルミダイカスト
	ボウル	ポリカーボネート樹脂	
	エレメント	ポリプロピレン樹脂	
	Oリング	合成ゴム(NBR)	

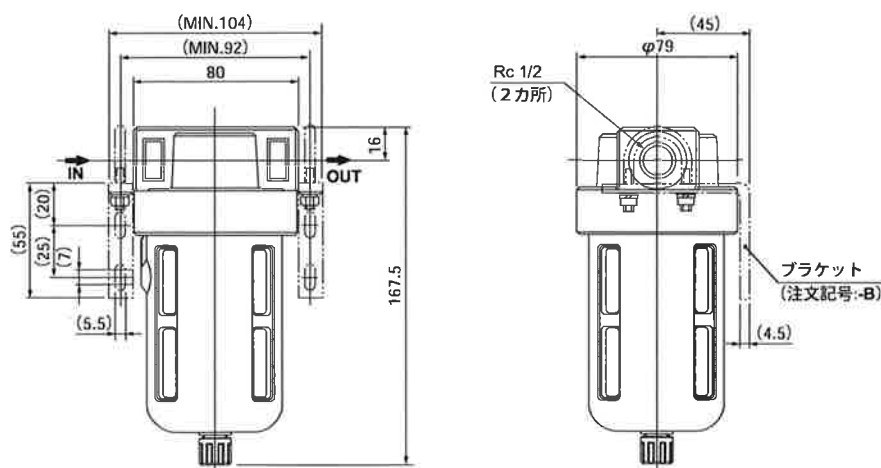
注1：必ず水滴、オイルミストを除去した乾燥エア(露点：大気圧下-17℃以下、含油量：0.05ppm以下)を供給してください。  
 2：空気圧力0.7MPa(温度：30℃)時の推奨最大流量(圧力降下量0.02MPa)。

## 寸法図 (縮尺1/2、単位mm)

### FHF200



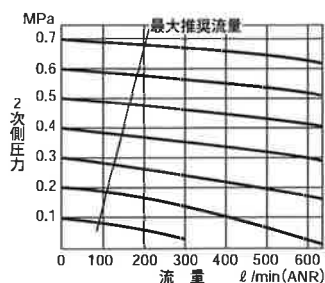
### FHF500



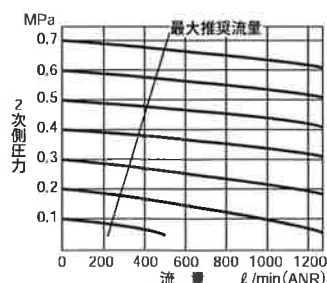
マルチ
マニ
ホールDR
大形
F.R.L.
サブライン
冷凍式
ドライヤ
クール
セパレータ
ドレンF
圧力計
膜式
ドライヤ
イン
ラインF
ホロー
ファイバF
クリーン
ラインF
小形
精密R
ステン
レスR
精密ステン
レスR
電一空R

調質機器  
ホローファイバフィルタ

FHF200



FHF500

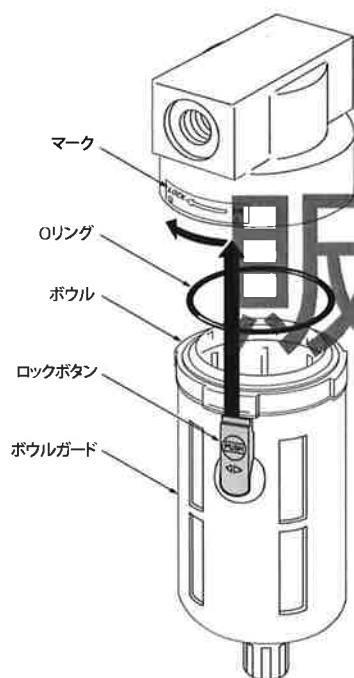


## 取扱い要領と注意事項



### ボウルの着脱

ボウル材質はポリカーボネートですので、無理な力や衝撃が掛からないようにしてください。また、有機溶剤等の雰囲気中では使用できません。



### ●ボウルの取外し

赤色のロックボタンのPUSHを押しながら、ボウル・ボウルガードを右(マークの矢印と反対方向)に回転させ、INに合わせると、ボウル・ボウルガードは本体から取り外せます。

### ●ボウルの取付け

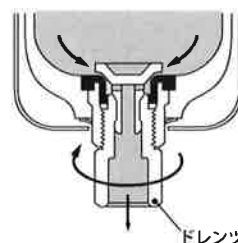
1. ボウル・ボウルガード、それぞれの上縁の凸部を合わせて、ボウルをボウルガードにセットします。
2. ロックボタンをINに合わせて本体に挿入し、本体に押し付けるようにしながら、左(マークの矢印方向)にLOCKの位置まで回転させると、固定されます。



1. ボウルの着脱は、必ず空気源を抜いた状態で行なってください。
2. Oリングを本体にセットしてから、ボウル・ボウルガードを取り付けてください。
3. ボウルを洗浄する場合は、水を使用してください。

### ●ボウル内にドレンがたまってしまった場合

ドレンツマミを左に回すとドレン口が開き、ドレンが排出されます。



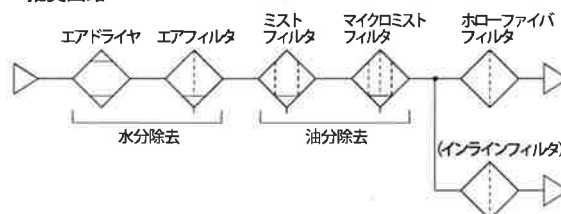
ドレンツマミは指先で操作するようにしてください。



### 取付・配管

配管部を上、ドレン排出口を下にして、垂直に取り付けてください。

### 推奨回路



備考：コガネイマルチシリーズのフィルタ類を使用しますと、連結用のモジュールアダプタが使用できます。40ページをご覧ください。



### 一般注意事項

1. 配管する前に、必ず配管内のフラッシング(圧縮空気の吹き流し)を十分に行なってください。作業中に発生した切屑やシールテープ、錆などが混入すると、目詰まりの原因になります。
2. 使用流体は空気を使用し、それ以外の場合は最寄りの弊社営業所へご相談ください。
3. 使用流体には油、水分を含まない空気を使用してください。油、水分による目詰まりは性能劣化の原因になります。